

## ■8月29日

## 沖縄振興予算案、那覇空港第2滑走路整備に300億円計上

内閣府は27日、2013年度当初予算比で407億円増となる総額3408億円の2014年度沖縄振興予算案の概算要求を自民党内閣部に示した。航空関連では、仲井真弘多知事が求めていた那覇空港第2滑走路整備費には170億円増の300億円を計上した。

第2滑走路整備費は県の要望通り工期を5年10カ月に短縮する前提で計上。総額は1980億円で、うち国負担が1900億円。13年度予算で130億円を計上しており、残り1770億円を工期で割った分の300億円を計上した。

(日刊航空)8/28

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0828-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0828-03.pdf>)

(琉球新報)8/28

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-211678-storytopic-3.html> (-> <http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-211678-storytopic-3.html>)

(沖縄タイムス)8/28

[http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-08-28\\_53400](http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-08-28_53400) (-> [http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-08-28\\_53400](http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-08-28_53400))

## バス会社4社、成田空港と東京駅結ぶダイヤ大幅増、LCC就航で格安バスも人気

(千葉日報によると)

京成バスなどバス会社4社は9月1日から、東京駅と成田空港を共同運行で結ぶ格安高速バス「東京シャトル」のダイヤを改正し、大幅増便する。需要の高まりに対応した。

格安航空会社(LCC)の成田就航に合わせ運行を始めた同路線だが、片道900円という価格設定がLCC客以外の成田利用者にも人気。最近の平均利用率は約50%で、LCCの早朝路線に接続する深夜早朝便や昼の東京発便では、満席で希望者を収容しきれないケースも出ているため、増便に踏み切った。

東京駅発便を1日20本から31本に、成田空港発便は45本から49本に増やす。

(千葉日報)8/28

<http://www.chibanippo.co.jp/c/news/economics/153531> (-> <http://www.chibanippo.co.jp/c/news/economics/153531>)

## 法務省、出入国手続き、自動化ゲート増設、概算予算に盛り込む

法務省は28日、2014年度一般会計予算の概算要求をまとめた。要求額は、13年度当初予算比で8.9%増(617億円増)の7582億円。

「観光立国」推進に向け、空港での出入国の手続きを迅速化する「自動化ゲート」の増設(8億6500万円)を盛り込んだ。自動化ゲートは、日本人と在留外国人を対象に、あらかじめ登録した指紋とパスポートが端末で認証されれば、審査官の面接なしに出入国できる。

現在は、成田など4空港に40台が設置されており、新たに30台を増やす。法務省は、日本人などを対象とした手続きを簡素化することで、外国人旅行者の審査にあたる人員を拡充する方針で、入国審査官ら約130人の増員も要求した。

(読売新聞)8/28

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20130828-OYT1T00619.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20130828-OYT1T00619.htm>)

## PEACH(LCC)、関空—成田線、初便予約は7割程度

ピーチ・アビエーションは28日、10月27日の成田—関空線就航を前に、丸の内と表参道で、成田就航記念おしぼりの配布を実施した。また、同日開催した記者会見において、ピーチの井上CEOは、関空—成田線初便の予約は現在7割程度埋まっており、初便以降についても当初予想を上回る勢いで予約があるということを明らかにした。

トラベルビジョンによると、なお、成田発着の新路線の就航については「常に柔軟に、状況によって対応していく」と答えるに留めたという。

(トラベルビジョン)8/28

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58684> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58684>)

#### PEACH(LCC)、来月にも300万人突破見通し

ピーチ・アビエーションの井上慎一CEOは28日、累計搭乗者数が、来月にも300万人を突破するとの見通しを明らかにした。昨年3月に就航したピーチは、今年5月に搭乗者数が200万人を突破したばかりで、利用拡大が進んでいることが明確になった。

また、ピーチは今後1年間の搭乗者として約400万人の目標を掲げているという。

(産経ニュース)8/28

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130828/biz13082822190021-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130828/biz13082822190021-n1.htm>)

#### ボーイング、787-9型、1号機完成、

(CNNによると)

米ボーイングの新鋭機「787」(ドリームライナー)の派生機となる「787-9」の1号機が完成し、ワシントン州エバレットの工場で披露された。

787-9は機体の全長が約63メートルと、これまでの787に比べて約6メートル長く、座席数は40席多い。航続距離も長くなる一方、燃料消費は同サイズの航空機に比べて20%削減できる。まず2014年半ばにニュージーランド航空に引き渡される予定だという。

ボーイングの787はこれまでに82機の発注を受けており、このうち42機を米アメリカン航空が、30機をシンガポール航空が発注している。

787-9については2機目と3機目が組み立ての最終工程にあり、同社は予定通りのスケジュールだと説明している

(CNN)8/27

<http://www.cnn.co.jp/business/35036410.html> (-> <http://www.cnn.co.jp/business/35036410.html>)

#### アジアナ航空、釜山—那覇線、定期便就航、11月から週3便

沖縄観光コンベンションビューローなどによると、アジアナ航空は、11月14日から週3便で釜山—那覇線に定期便を就航させることがわかった。使用機材はエアバスのA320型機(155席)。

同社は2010年度以降、韓国人観光客が増える冬場に限り、同じ路線でチャーター便を運航してきた。ソウル—那覇線にジンエアーが参入したことなどで春先以降も沖縄を訪れる韓国人観光客が増えているため、釜山—那覇線を定期路線にして利用者の上積みにつなげる。

韓国では避寒やゴルフを目的とした沖縄への旅行需要が冬場に高まることから、アジアナ航空は11年から冬場に釜山—那覇線にチャーター便を投入。12年度には週2往復体制で運航していた。

(日経)8/29

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO59040950Y3A820C1LX0000/> (->

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO59040950Y3A820C1LX0000/>)